

求人票にまつわるトラブルが増加しています（その1）

報道によれば、求人票を巡って求職者と事業所においてトラブルが増加しているそうです。そこで、今後数回にわたり、厚生労働省のリーフレットの内容(Q&A)を用いて、事例を紹介したいと思います。

求職者の声

⇒ 面接で、求人票に記載してある賃金よりも低い賃金を示されました。求人票に記載してあるものより低い賃金を示してもよいのでしょうか？

ハローワークからのお願い

求人票の「毎月の賃金」欄の下限額は、応募基準を最低限満たす方を採用した場合に支払う予定の金額です。求職者は少なくとも下限額が支給されるものと期待して応募しています。当初想定していた応募基準を満たさないが将来性に期待できる等の理由から下限額を下回る額で採用したいというような場合は、求職者に提示する前にハローワークにご相談ください。ハローワークから求職者に求人事業主の意向を伝えるなど必要な対応を行います。

また、試用期間中の労働条件が試用期間終了後の労働条件と異なる場合は、必ず試用期間中の労働条件を求人票の「備考」欄等に記載するようお願いします。

弊所の考え

「求職者に提示する前にハローワークにご相談下さい」とのハローワークの回答ですが、目の前に求職者がいるのに、そんな悠長なこと言われるの？って感じですよ！労働条件のなかでも、賃金は最重要ポイントになります。今後、よく出るフレーズになりますが、「後出しジャンケン」は求職者からすると、「えっえー！！」の公算大です。賃金の下限額は、あらゆることを想定した金額を設定しましょう。尚、余談ですが、下限額と、上限額の幅があまりに大きいと、今、はやりの「ブラック企業」と思われる傾向があるそうです。上限額についても、現実的な金額を設定しましょう。

天せいろはこの順番で食べる（日経おとなの off より）

蕎麦は一気にすすって平らげるのが粋かもしれないが、糖質制限の考え方によれば「少量ずつゆっくりと」が正解となる。天ぷらが付く場合は、まず天ぷらをすべて食べ、合間に蕎麦を少量ずつ楽しもう。天ぷらを全部食べ終わったら、残りの蕎麦をゆっくり食べる。蕎麦湯にも糖質が溶け込んでいるので、飲みすぎは禁物だ。

うどんの場合は、さらに糖質の量が多いので、ネギなどの薬味を多めに入れるように工夫しよう。「特に立ち食いの店で蕎麦やうどんを食べるときは、早食いになりがちなので要注意です」。

●天せいろの食べる順番

①	天ぷらは揚げたてを全部(合間に蕎麦を少量)
②	残りの蕎麦をゆっくり
③	蕎麦湯は少量



車で走っていると、川浴いなどにコスモスがきれいな季節になり、朝夕にはウォーキングやジョギングをしている人たちも多くなってきました。マラソン出場を目指している人もいますね。数年前にジョギングではりきりすぎて腰を痛めた私ですが、用心しながらウォーキングでも少し始めたいと思っています。いつからするかと聞かれても『〇〇でしょ』とは言えませんが…。(H. I)